

テクノゾーンレター

1.事務局からお便り

新横浜テクノゾーン協同組合事務局をお預かりしております峯から、組合員の皆様及び川向町テクノゾーン内にて操業されている皆様にご挨拶申し上げます。

お陰様でこの3月で無事に第22期を終え、新たな期を迎えることができますことは、ひとえに皆様のご理解あつてのことと深く感謝しております。これからも更によき方向へ向かえますよう、理事会よりご指導を頂き組合運営に携わって参ります。皆様には今一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、今月の活動報告です。



2013年2月27日(水)

平成25年中小企業団体交流大会 「協創～新たな価値の創造～」

横浜中華街にあるローズホテル横浜にて開催された団体交流大会に当組合から栗屋野理事長、村山副理事長、事務局峯が参加して参りました。

平成25年 中小企業団体交流大会
 神中民 第459号 平成25年1月9日
 神奈川県中小企業団体中央会 会長 榎 洋

～新たな価値の創造～

平成25年
2月27日(水)
 15:00～19:30

ローズホテル横浜2F
 「ザ・グランドローズボールルーム」

横浜市中区山下町77
 (みなとみらい線元町・中華街駅2番出口より徒歩1分)

今こそ、市場開拓・市場創造に挑め!
 ～革新的企業であるために～
 外務省参事として中小企業の海外展開、関東経済産業局「新連携支援」政策の事業評価委員長として中小企業支援実践にかかわる。
 更に中小企業支援ネットワーク「スマールサン」主宰者として企業経営者との勉強会を全国で開催するなど、自ら中小企業支援を積極的に展開している。

山口 義行氏
 立教大学経済学部 教授

NHK総合テレビ「クローズアップ現代」、同「サキどり」、フジテレビ「とくダネ!」などのコメンテーター、BS11の「山口義行の中小企業新聞」ではメインキースターとして番組作りにかかわるなどメディアでも活動。民間の政策立案組織である「政策工房」Wayの代表として政策提言活動なども行っている。

◆特別講演 (15時00分～16時30分) 講師:立教大学経済学部教授 山口義行氏
 ◆事例発表 (16時45分～17時45分) コーディネーター:日本大学大学院教授 平田光子氏
 ①神奈川県生活支援ネットワーク協同組合 ②小田原商研協同組合 ③信楽組合コハマクラック家具グループ
 ◆交流懇話会 (18時00分～19時30分)

基調講演は、TVでもお馴染みの立教大学教授である山口義行氏。アベノミクスに踊らされないよう、日銀が仮にお金を大量に流してもその後銀行から市場に供給されるとは限らないので慎重な判断が必要であるという話から始まり、政治に惑わされずに生き抜いていくために大切なのは、企業の経営努力で、市場を開拓できなければ市場を創造すべき。それには企業の「ウリ」を見つけ出すことが必要。外から見てわが社はどう見えるのかと考えると新たな創造が見えてくる。例えば製造業ならば、よく品質第一をウリにするが、特に他社と比較してずば抜けた品質管理を行っているならばともかく、物づくりにおいて品質は良くて当たり前。それでは何が期待されるか。「時間」をウリにしてみたらどうか。見積もりは24時間以内。試作3日以内など他社よりも早く良いものをお届けすることができれば、強

みとしてアピールする事ができるのではないだろうか。製造業はやったもの勝ちだと考えて前向きに！と、熱く語って頂きました。

更に、キーワードとして「コンセプトイノベーション」という言葉を掲げ、例として体重計で（最近では食堂のほうが）有名な（株）タ○タの話がありました。

体重計を販売→体重を計るものを販売→ここで止まると狭い市場で発展せず終わり・・・

→ **それだけ？→健康を計るものを売っている** →では体重と脂肪の関係を研究してみよう！→研究の結果「体脂肪率」という考え方を確立→なぜ体脂肪が大事なのかを社外の研究家に協力を要請→体脂肪が計れる体重計で「健康のバロメーター」として世間に普及（**市場の創造**）→後発のメーカー対策を発表と同時に考えていく **これが大事！**



経営者は柔軟性を持って、ウチはこれだけしかやらないなどと

いう殻は破って行って新しい市場を創造して欲しいという主旨のお話しでした。

次に事例発表として、神奈川県生活支援ネットワーク協同組合さんからタクシー業界における新規事業として「観光タクシーサービス ぶらタク」の説明がありました。これは自宅と観光地をドアトゥドアで結び、社会的弱者の方もそれ以外の方もタクシーのファンになっていただき観光を楽しんでもらおうというコンセプトでありました。

小田原蒲鉾協同組合さんからは、「小田原蒲鉾」というブランドを確立し商標化、安定した売り上げを確保してきたが、近年生産額の減少が目立ってきたことから新しい試みに着手した内容を発表していただきました。具体的には、今まで利用していない小田原水揚げの魚類を使った蒲鉾づくりをし、蒲鉾の板は小田原の林業組合とタイアップし小田原の杉間伐材を活用。新しい食感の蒲鉾を提供。またB級グルメを意識し、間伐材の棒に練り物をつけて揚げたおやつ的要素の揚げ蒲鉾を開発。積極的なモニタリングを行っていき、今後のパッケージに対するアイデアの参考にし、モニターからの新商品の投入による反響に期待し、既存製品の売り上げ増大を狙っていくという発表内容でした。

最後に協業組合ヨコハマクラシック家具グループさんから、木製家具の製造普及に関して、



意匠に工夫を凝らした高級家具を製造し、木製家具に造詣の深い欧州を始めとする海外に販路を求めていく方針で活動を開始したという発表もありました。

どの組合さんもまだ始めたばかりの事業ではありますが、常に問題意識をもち課題を克服していった姿勢があったからこそ、徐々に軌道に乗り始めていることが伝わる事例発表でした。

2013年3月18日(月)

「組合における監事の役割と監査のポイント」セミナー

神奈川県中小企業団体中央会による上記セミナーが横浜駅東口ヨコハマジャスト1号館において開催され、事務局峯が参加して参りました。

本来事務局は監査を受ける側の立場ですが、新米事務局長としては組合において監事が果たす役割というものの理解なども勉強しておく必要があると思いい参加させていただきました。

冒頭に連携開発部遠藤部長より、一口に協同組合といっても様々な業種業態であり、監事の行う監査のポイントもそれぞれ異なってくるので、このようなセミナーは実施しにくい状況であったという話がありました。確かに組合事業も様々でしょうし一般論として話しづらいかもかもしれません。しかしながら今回は公認会計士の成田博隆氏のご協力により上場企業監査の手法に基づくポイントをチェックシートを活用することにより要点を絞ってご説明頂き、監事の役割については中小企業協同組合法各条項と照らし合わせながら時間をオーバーしての爽りある講義を拝聴することができました。

監査を後ろ向きに捉えずに、正しい内部統制の確立のためのツールとして活用できるようにして欲しいという講師の言葉が印象的でありました。



毎月第2火曜日の清掃のお知らせ

毎号お知らせしておりますが、第2火曜日は朝9時に第1駐車場裏に集合いただき、町内会の方々と朝の挨拶を交わし情報交換などをしたのちに、各駐車場の清掃を行っております。是非各社からご参加頂きたいと思っております。

4月の清掃は9日です

駐車場の清掃時に必ず話題になるのが、たばこの吸い殻の多いことです。酷いときには灰皿の中をぶちまけたように山となっていることもあります。喫煙のマナーが厳しく指摘される昨今、たばこのポイ捨てを共有スペースで(どこでもですが)行うことはとても恥ずかしいことだと思います。各社何かの折にでも話題にして頂き、教育していただければ幸いです。



違法駐車についてのお願い

皆様既にご存知のことと思いますが、第三京浜港北ICには横浜環状北線・北西線がつながることとなり工事が着工されております。それに伴い、組合案内図を設置してあります公園周辺は港北ICから降りてきた車と工事車両等で交通量が増加しており、一般車両がテクノゾーン内を通過することも多くなってまいりました。

そこで改めて下記画像の赤線部分におきましては、特に駐車をご遠慮いただきますようお願いいたします。業務上一時的に置くこともおありでしょうが、その際にも両側に停車してしまうと交通の妨げとなり事故につながっております。よろしくお願いいたします。



この場所以外にも長時間の駐車には気を付けて頂きますようお願いいたします。

頻繁に配送のトラックを運転されている方から通行できないので何とかしろという非常に強い口調の抗議が寄せられておりますが、事務局では対応することができません。

どうか各社の会社方針で迷惑駐車をしないと決めていただき、トップダウンで従業員の皆様にまで徹底していただくことはできないのでしょうか。

せめて駐車車両にどちらの会社のものか、またはどちらにお勤めの方の車両か明示していただき、連絡がつくようにして頂くとスムーズにお互い対応できると思うのですがいかがでしょうか。

いずれにしても、各社を率いる代表者様の考え方次第ではないかと思っております。これを機にご一考くださいますと喜ばしい限りです。お願いごとばかりで恐縮ですがどうかよろしくお願いいたします。

